



平成25年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月13日

上場会社名 ジャパンベストレスキューシステム株式会社  
 コード番号 2453 URL <http://www.ibr.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長  
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東 名

(氏名) 榎原 暢宏  
 (氏名) 鈴木 良夫

TEL 052-883-0850

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年9月期第1四半期の連結業績(平成24年10月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年9月期第1四半期	2,059	17.7	147	7.4	127	115.1	129	—
24年9月期第1四半期	1,750	△4.7	137	19.8	59	△38.5	1	△97.2

(注) 包括利益 25年9月期第1四半期 160百万円 (—%) 24年9月期第1四半期 8百万円 (△82.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年9月期第1四半期	2,090.03	—
24年9月期第1四半期	21.86	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年9月期第1四半期	9,619	2,878	28.5	44,594.41
24年9月期	9,640	2,860	28.3	43,584.27

(参考) 自己資本 25年9月期第1四半期 2,746百万円 24年9月期 2,727百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年9月期	—	500.00	—	1,000.00	1,500.00
25年9月期	—	—	—	—	—
25年9月期(予想)	—	500.00	—	1,000.00	1,500.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年9月期の連結業績予想(平成24年10月1日～平成25年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,355	16.1	271	△31.9	226	△40.9	87	△54.1	1,400.63
通期	8,501	14.3	506	△16.6	450	△17.4	222	△14.2	3,557.47

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.4「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年9月期1Q	68,858 株	24年9月期	68,858 株
----------	----------	--------	----------

② 期末自己株式数

25年9月期1Q	7,277 株	24年9月期	6,272 株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年9月期1Q	62,149 株	24年9月期1Q	64,560 株
----------	----------	----------	----------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(5) セグメント情報等	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、欧州債務問題の再燃や日中関係の悪化に起因する経済活動への影響及び火力燃料の輸入増加等によって貿易収支の赤字が継続したものの、12月の政権交代をきっかけとした円安、株価上昇等に伴って、景況感に一定の改善がみられました。また、消費税率引き上げの決定による不動産や設備投資の駆け込み需要が始まり、小売業の一部では年末商戦に活況が戻りましたが、増税等による先行きの家計負担増大を不安視した消費マインドの悪化が未だ懸念される状況が継続しております。

このような状況の下、当社グループは「困っている人を助ける」という経営理念に基づき、既存事業の強化と新たな成長基盤の確立に取り組んでまいりました。

当第1四半期連結累計期間における売上高は、2,059,411千円（前年同期比17.7%増）、営業利益は147,117千円（前年同期比7.4%増）、経常利益は127,159千円（前年同期比115.1%増）となり、四半期純利益は129,893千円（前年同期は四半期純利益1,411千円）となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間における作業件数はガラス関連サービス5千件、水まわり関連サービス11千件、カギの交換関連サービス15千件です。また、生活会員（ライフデポ会員を除く）の当期入会会員は65千人（継続入会を含む）となりました。

各セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ① コールセンター事業

コールセンター事業におきましては、カギ、パソコン等はほぼ前年同期並みの業績となりましたが、競合の攻勢等によって受付件数が全般的に低迷したため、コールセンター事業全体の売上高は前年同期を下回りました。

当第1四半期連結累計期間におけるコールセンター事業は、カギ部門の売上高が108,287千円（前年同期比3.7%減）となり、パソコン部門の売上高が22,694千円（前年同期比0.9%減）となっております。

この結果、コールセンター事業全体の売上高は、159,558千円（前年同期比8.2%減）となり、売上高の減少により、営業利益は41,072千円（前年同期比29.6%減）となりました。

#### ② 会員事業

会員事業におきましては、提携企業の賃貸住宅入居者向け「安心入居サポート」会員、家電及び住宅設備機器のメーカー保証期間終了後をサポートする「あんしん修理サポート」会員及び全国大学生活協同組合連合会の「学生生活110番」が、いずれも販売拡大により、入会会員を順調に伸ばしております。

当第1四半期連結累計期間における会員事業は、「安心入居サポート」会員の売上高が396,876千円（前年同期比54.1%増）、「あんしん修理サポート」会員の売上高が18,826千円（前年同期比112.5%増）、「学生生活110番」会員の売上高が40,369千円（前年同期比32.8%増）、「ライフサポートパック」会員等の売上高が120,636千円（前年同期比14.5%減）となりました。

この結果、会員事業全体の売上高は、605,056千円（前年同期比29.3%増）となり、主に「安心入居サポート」会員の売上高の増加が貢献したことにより、営業利益は130,280千円（前年同期比34.7%増）となりました。

#### ③ 企業提携事業

水の救急車事業におきましては、競争の激化等があるものの、ほぼ前年同期並みの業績となっております。

旭硝子ガラスの救急車事業におきましては、ガラスの緊急割れ換えが低調であったものの、窓関連リフォームが堅調に推移したことにより、ほぼ前年同期並みの業績となっております。

コールセンター受託事業では、顧客企業のコールセンターと作業出動をワンストップで提供しております。当第1四半期連結累計期間における現場出動作業の減少等の影響から、前年同期の売上高を下回っておりますが、コールセンター受託企業数は引き続き順調に増加し191社（前年同期受託企業数175社）となっております。

当第1四半期連結累計期間における企業提携事業は、水の救急車事業の売上高が468,052千円（前年同期比3.2%増）、旭硝子ガラスの救急車事業の売上高が189,431千円（前年同期比0.5%減）、セコムウィン事業の売上高が20,394千円（前年同期比6.0%増）、コールセンター受託事業の売上高が146,718千円（前年同期比11.4%減）となりました。

この結果、企業提携事業全体の売上高は、824,596千円（前年同期比0.5%減）となり、営業利益は67,437千円（前年同期比32.4%増）となりました。

#### ④ 加盟店事業

加盟店事業におきましては、テレビのスポットCM等によって、プロモーション業務による加盟店への売上高が増加し、売上高は45,746千円（前年同期比6.7%増）となりましたが、生活救急車全般のプロモーションに関連する広告宣伝費を当セグメントで負担しているため、営業損失は67,097千円（前年同期は営業損失77,587千円）となりました。

なお、加盟店数は444拠点、協力店数は1,103拠点となっております。

#### ⑤ 少額短期保険事業

少額短期保険事業におきましては、賃貸住宅の家財を補償する「新すまいRoom保険」が順調に伸びていることにより、売上高は351,757千円（前年同期比72.2%増）となりましたが、保険業法第113条繰延資産への費用繰り延べ終了の影響により、営業利益は34,898千円（前年同期比42.2%減）となりました。

#### ⑥ 自動車賃貸事業

自動車賃貸事業におきましては、前年同期に発生した大口賃貸先の契約違反による解約から復調に至らず、売上高は30,035千円（前年同期比69.4%減）となり、営業利益は881千円（前年同期比92.4%減）となりました。

#### ⑦ その他の事業

その他の事業におきましては、前第3四半期より開始した医療機器事業が軌道に乗りかけたことにより、売上高は107,690千円（前年同期は688千円）となり、営業損失は613千円（前年同期は営業損失66千円）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### (流動資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、前連結会計年度末と比べ263,586千円減少し、7,561,009千円となりました。これらは主に、短期貸付金が126,680千円、売掛金が85,559千円増加したものの、現金及び預金が471,494千円減少したことによるものです。

#### (固定資産)

当第1四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、前連結会計年度末と比べ263,551千円増加し、1,885,306千円となりました。これらは主に、長期貸付金が252,911千円増加したことによるものです。

#### (繰延資産)

当第1四半期連結会計期間末における繰延資産の残高は、前連結会計年度末と比べ20,667千円減少し、173,028千円となりました。これは主に、少額短期保険事業に係る保険業法第113条繰延資産が20,638千円減少したことによるものです。

#### (流動負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末と比べ6,462千円増加し、4,225,578千円となりました。これは主に、未払法人税等が96,901千円減少したものの、買掛金が78,661千円、前受金が22,984千円増加したことによるものです。

#### (固定負債)

当第1四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、前連結会計年度末と比べ46,031千円減少し、2,514,825千円となりました。これは主に、長期前受収益が33,812千円増加したものの、長期借入金金が87,449千円減少したことによるものです。

#### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末と比べ18,866千円増加し、2,878,941千円となりました。これは主に、自己株式が79,098千円増加したものの、利益剰余金が66,994千円、その他有価証券評価差額金が30,507千円増加したことによるものです。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に関しましては、平成24年11月14日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

### 1. 簡便な会計処理

#### ①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

#### ②固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

### 2. 特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,376,343	5,904,848
売掛金	557,399	642,958
有価証券	100,000	100,000
商品	77,811	61,145
その他	779,881	918,769
貸倒引当金	△66,838	△66,711
流動資産合計	7,824,596	7,561,009
固定資産		
有形固定資産	177,545	160,989
無形固定資産		
のれん	23,851	21,836
その他	180,125	172,027
無形固定資産合計	203,976	193,864
投資その他の資産		
投資有価証券	686,320	713,714
その他	595,200	858,625
貸倒引当金	△41,288	△41,887
投資その他の資産合計	1,240,233	1,530,453
固定資産合計	1,621,755	1,885,306
繰延資産	193,696	173,028
資産合計	9,640,048	9,619,345
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	371,789	450,450
短期借入金	900,000	900,000
1年内返済予定の長期借入金	1,826,259	1,818,715
未払法人税等	162,504	65,602
賞与引当金	14,572	4,145
会員引当金	132,492	140,058
支払備金	10,514	10,365
責任準備金	199,201	204,663
その他	601,781	631,576
流動負債合計	4,219,115	4,225,578
固定負債		
長期借入金	1,764,563	1,677,114
その他	796,294	837,711
固定負債合計	2,560,857	2,514,825
負債合計	6,779,973	6,740,403

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	756,860	756,860
資本剰余金	824,405	824,405
利益剰余金	1,612,159	1,679,153
自己株式	△474,230	△553,328
株主資本合計	2,719,194	2,707,090
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,570	39,078
その他の包括利益累計額合計	8,570	39,078
少数株主持分	132,310	132,773
純資産合計	2,860,075	2,878,941
負債純資産合計	9,640,048	9,619,345



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成23年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成24年12月31日)
売上高	1,750,138	2,059,411
売上原価	979,905	1,138,145
売上総利益	770,232	921,266
販売費及び一般管理費	633,193	774,148
営業利益	137,038	147,117
営業外収益		
受取利息	683	5,567
受取配当金	418	598
持分法による投資利益	3,679	—
その他	6,953	2,820
営業外収益合計	11,735	8,986
営業外費用		
支払利息	7,338	7,017
貸倒引当金繰入額	61,921	—
持分法による投資損失	—	990
保険業法第113条繰延資産償却費	19,743	20,638
その他	648	297
営業外費用合計	89,652	28,944
経常利益	59,121	127,159
特別利益		
投資有価証券売却益	—	49,714
特別利益合計	—	49,714
税金等調整前四半期純利益	59,121	176,873
法人税、住民税及び事業税	20,467	53,786
法人税等調整額	38,282	△7,269
法人税等合計	58,750	46,517
少数株主損益調整前四半期純利益	371	130,356
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△1,039	463
四半期純利益	1,411	129,893

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成23年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	371	130,356
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,416	30,499
持分法適用会社に対する持分相当額	△61	8
その他の包括利益合計	8,355	30,507
四半期包括利益	8,726	160,864
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,766	160,400
少数株主に係る四半期包括利益	△1,039	463

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間（自平成23年10月1日至平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント							その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	コール センター	会 員	企業提携	加 盟店	少額短期 保 険	自 動 車 賃 貸	計				
売上高											
外部顧客への売上高	173,848	466,285	828,640	42,875	140,157	97,643	1,749,449	688	1,750,138	—	1,750,138
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	1,529	—	—	64,150	620	66,301	—	66,301	△66,301	—
計	173,848	467,815	828,640	42,875	204,308	98,263	1,815,751	688	1,816,439	△66,301	1,750,138
セグメント利益又は損失(△)	58,333	96,700	50,942	△77,587	60,383	11,559	200,332	△66	200,266	△63,227	137,038

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、シンプルセキュリティ事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△63,227千円には、セグメント間取引消去△1,947千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△61,280千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成24年10月1日至平成24年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント							その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	コール センター	会 員	企業提携	加 盟店	少額短期 保 険	自 動 車 賃 貸	計				
売上高											
外部顧客への売上高	159,558	602,502	824,571	33,161	302,871	29,056	1,951,721	107,690	2,059,411	—	2,059,411
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	2,554	25	12,585	48,886	979	65,030	—	65,030	△65,030	—
計	159,558	605,056	824,596	45,746	351,757	30,035	2,016,751	107,690	2,124,441	△65,030	2,059,411
セグメント利益又は損失(△)	41,072	130,280	67,437	△67,097	34,898	881	207,473	△613	206,859	△59,741	147,117

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医療機器事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△59,741千円には、セグメント間取引消去63千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△59,805千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。